鳥取教弘

編　集　公益財団法人
日本教育公務員弘済会
鳥取支部

発　行　㈱鳥取教弘
鳥取市末広温泉町608番地
TEL(0857)26—5334
FAX(0857)22—0248

メールアドレス：t-kyoko.t.y@topaz.ocn.ne.jp

第63号
平成27年7月

平成27年度第1回運営委員会　於 倉吉シティホテル（H27.6.13）

●支部長あいさつ……P1
●平成26年度の事業の様子……P3
●平成27年度の事業の計画……P11
●教職員のための教弘保険……P17
●教職員のための損害保険……P19
●役員……P21

教育振興事業の
― 多くの

皆様におかれましてはご多用な毎日をお過ごしのことと拝察いたします。日頃より、弘済会の諸事業に対しまして絶大なるご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、（公財）日教弘は、平成２４年４月１日より公益財団法人としての新たな出発をいたしました。そして、３年目の節目として、平成２６年１２月に「公益財団法人日本教育公務員弘済会の草創期の取組」をまとめました。

その中で、「日教弘の使命と志」について次のように書かれています。

〈使　命〉

公益法人の使命は、「民による公益の増進」に寄与し社会貢献を図ることにある。（公財）日教弘は公益財団法人としてその使命を果たすべく教育振興事業の更なる拡充を図り、広く教育界に寄与・貢献する。

教育振興事業における奨学金の貸与・給付、学校研修・研究への助成及び資質向上を目指す教職員への支援は、「青少年の健全な育成」に資することとなる。

そうした観点に立ち、教育振興事業の評価基準は、「最終受益者は子どもたちである」ことを前提とする。

〈志〉

（公財）日教弘は、教育に携わる仲間たちの助け合いの輪を広げるという創立の理念を大切にしつつ、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために尽力するという崇高な志を持ち、日本の教育の振興に寄与し、（公財）日教弘に寄せられる広範な国民の信頼と負託に応えていく。

最終受益者は子どもたち
皆様に支えられて ―

公益財団法人 日本教育公務員弘済会鳥取支部
支部長　尾　﨑　祥　彦

日教弘は教育振興事業として、①奨学事業、②教育研究助成事業、③教育文化事業に取り組んでいますが、事業の一つ一つが、最終受益者である子どもたちの思いや願いを受け止め、子どもたちの笑顔や喜び、成長につながるものでなくてはならないということです。

昨年度、鳥取支部の「創立６０周年記念式典」を行いました。

式典の中で、記念発表として、最初に給付奨学生（高校生）の発表を聞きました。奨学生は、生活が厳しい中で一生懸命高校生活に取り組んでいることを話してくれました。次に、地元の少年少女合唱団のすばらしい合唱を聴きました。最後に、昨年は唱歌「ふるさと」誕生１００年の記念の年ということもあり、全員で声高らかに「ふるさと」を合唱し心を一つにして記念式典を終了しました。

それぞれの発表が、多くの皆様に支えられて取り組んでいる教育振興事業の成果を子どもたちの姿で確かめ共有するものでありました。心が温まる発表でした。

弘済会鳥取支部の役職員一同、常に「最終受益者は子どもたちである」ことを胸に刻んで事業を展開していきたいと思います。

（お知らせ）

この度の日教弘本部の役員改選におきまして、近畿以西のブロックの代表として、６月２３日より副理事長（非常勤）に就任しました。

よろしくお願いいたします。

平成26年度の事業の様子

教育振興事業
（公益目的事業）

人材の育成、教育・文化の向上発展のために

一　奨学事業

1　日教弘奨学金（貸与奨学金）……大学生等対象

⑴　本部事業

- 募集人員　５０名程度（１名１００万円以内、修学期間１年につき２５万円）
- 貸与者　　３０名　　２，５７５万円

2　給付奨学金

⑴　高校生対象の給付奨学金

- 募集人員　３９名（２０万円：３９名　国・県立学校３３校　私立学校６校）
- 給付者（２０万円給付）２８校２８名（１０万円給付）１１校　２２名

⑵　義援給付奨学金（平成２４年度より単年度毎に３年間実施）

- 給付対象者は、平成２３年３月１１日の東日本大震災の災害救助法の適用地域、岩手県、宮城県、福島県、青森県、茨城県、栃木県、千葉県（東京都を除く）より鳥取県に避難している公立学校の児童・生徒
- 給付者　　２０名　　４０万円

二　教育研究助成事業

1　教育実践研究論文

⑴　平成２６年度鳥取支部募集教育実践研究論文　　＜１０４万円＞

（選考結果）

①　学校研究（団体研究を含む）

最優秀賞　　１０万円（１件）

＊八頭町立八東小学校　　校長　　中尾　　等

「自らの学びを　実感する学習の創造」

～体育科を中心として　主体的に学び合う子どもをめざして～

優 秀 賞　　５万円（５件）

＊米子市立福米東小学校　　校長　　浦林　　実

「豊かな心と確かな学力をもつたくましい子どもの育成」

～道徳の時間を要として、広がれ　はあとふる東っ子～

＊鳥取市立浜坂小学校　　校長　　古田　久憲

「つながり合い　自ら学ぶ子どもの育成」

～「分かった　できた　楽しい」と感じる算数の授業づくり～

＊鳥取市立米里小学校　　校長　　中宇地昭人

「自らの思いを豊かに表現する米里の子」

～子どもたちの言葉の力の育成をめざして～

＊湯梨浜町立東郷中学校　　校長　　小椋　勝美

「『協同学習』からの脱却」
～共通実践のスパイラルアップと生徒が自ら学ぶ仕掛けづくりを通して～

＊鳥取市立遷喬小学校　校長　栗岡　玲子
「学び合う学びを通し、背伸びとジャンプのある授業をつくる」
～国語科での実践を通して～

奨 励 賞　３万円（４件）

＊鳥取市立日進小学校　校長　徳田　純子
「連帯感を育む仲間づくり」
～伝え合い、折り合い、共に実現する力の育成～

＊鳥取市立世紀小学校　校長　小山　将範
「ルールとリレーションで学級力・学校力を高める」
～世紀小スタンダードをもとにして～

＊米子市立河崎小学校　校長　田中　豊昭
「伝え合い　認め合い　高め合う　河崎の子」
～思考力・判断力・表現力を育てる授業づくり，仲間づくり～

＊日吉津村立日吉津小学校　校長　金田　和寿
「共に学び合う子どもの育成」
～対話型授業の創造を通して～

② 個人研究（グループ研究を含む）

最優秀賞　１０万円（１件）

＊鳥取市立北中学校　教諭　神波　徹
「知的好奇心を引き出し、学ぶ喜びが実感できる授業づくり」
～コース別少人数指導を活かした数学的問題解決学習の実践を通して～

優 秀 賞　５万円（５件）

＊八頭町立八東中学校　教諭　下田　由人
「主体的に取り組む言語活動の工夫」

＊鳥取県立米子養護学校　教諭　倉敷　靖
「就労支援における障害者就業・生活支援センター及び就労支援施設と特別支援学校との連携のあり方についての一考察」

＊鳥取県立鳥取商業高等学校　教諭　中村　篤人
「“鳥商発”地域とともに、未来に向けて」
～実践的な学びによる生徒の変容を目指して～

＊倉吉市立上北条小学校　養護教諭　松田智栄美
「食物アレルギーにかかる学校事故の未然防止に向けた取り組みについて」
～エピペン使用と代替食誤食の経験から～

＊鳥取市立河原中学校　教諭　吉田祐一郎
「“わかる授業づくり”をめざした理科教材・教具の工夫」
～スマートフォンを活用した教具開発を通して～

奨 励 賞　２万円（４件）

＊大山町立大山小学校　教諭　加藤　智史
「大山に学ぶ、未来を切り開く『わくわく』理科教育の取組」
～地域の自然を教材化「生きる力は、生きる地から」～

＊米子市立弓ヶ浜小学校　教諭　堀田　純生
「児童同士が関わり合いながら技能を高める器楽指導」
～第５学年「和音の美しさを味わおう」の実践を通して～

＊鳥取県立皆生養護学校　　教諭　　勝田　浩司
「病弱部門の自立活動の時間における指導の実践」
～自立活動の「人間関係の形成」をはぐくみ、自己肯定感を高める指導について～
＊米子市立彦名小学校　　校長　　辻田　賢次
「諸感覚を総動員した魚料理」
～２年生活科の実践～

⑵　第２０回　日教弘教育賞

①　学校部門　奨励賞

＊鳥取市立福部中学校　　校長　　濱崎　裕生
「思考力（深く）・判断力（正しく）・表現力（美しく）を高めていく生徒の育成」
～総合的な学習の時間の探究的な学習を通して～
＊鳥取市立北中学校　　校長　　有本　健一
「志を持ち、豊かな学びを追究する生徒の育成」
～学びの楽しさ・奥深さを実感させる授業づくりを通して～

②　個人部門　奨励賞

＊米子市立福米東小学校（福生東）　　教諭　　波多野健司
「書くことのよさを感じ、書くことを楽しむ心を育てるために」
～一枚文集２０００枚の実践から見えてきたもの～

⑶　第３１回　公益財団法人東京海上日動教育振興基金

①　学校研究　　採択

＊日南町立日南小学校　　校長　中島　昭生（青戸　晶彦）
「関わり合いを通して、生き抜く力を身につける子どもの育成」
～保小中が一貫して行う、自己効力を高める取組を通して～

②　個人研究　　採択

＊北栄町立北条小学校　　校長　　中前雄一郎
「地域に学び　地域を元気にする学習の展開」
～東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクトの活動を通して～
※公益財団法人東京海上日動教育振興基金の発刊する平成２６年度教育研究助成『実践事例選』に掲載される。

２　教育研究助成事業

⑴　日教弘奨励金（学校教育研究助成）

①　助成校〔小学校１６０万円、中学校８０万円、高校４０万円〕計２８０万円

小学校助成校数〔１６校〕

No.	申請団体	代表者名	奨励金額(円)	備　　考（研究テーマ）
1	鳥取市立遷喬小学校	栗岡　玲子	100,000	対話を通して学び、学ぶことの楽しさを実感する子どもの育成～学び合いを通し、背伸びとジャンプのある授業をつくる～
2	鳥取市立日進小学校	徳田　純子	100,000	連帯感を育む仲間づくり～伝え合い、折り合い、共に実現する力の育成～
3	鳥取市立富桑小学校	米澤　仁美	100,000	人間関係を基盤にした学力の向上～かかわり合う中で、感じ、考え、行動する子ども～
4	鳥取市立稲葉山小学校	倉本　一弘	100,000	豊かにつながり合い、学び合い、高め合う子どもの育成～言葉を通して豊かにつながる国語科学習～
5	鳥取市立津ノ井小学校	民木　寛子	100,000	ともに学び　心豊かに　たくましく育つ　津ノ井の子～授業づくり・仲間づくり・体づくり・学校づくり～

No.	申請団体	代表者名	奨励金額(円)	備　　考（研究テーマ）
6	岩美町立岩美北小学校	谷口　　謙	100,000	仲間や地域とつながる児童の育成～生活科・総合的な学習の時間の学びを通して～
7	岩美町立岩美西小学校	池口　睦生	100,000	ともにつながり、高め合う子どもの育成～算数科の学習を通して～
8	倉吉市立明倫小学校	生田　文子	100,000	学級力を育てる学級経営と授業づくり
9	倉吉市立上小鴨小学校	吉岡　裕子	100,000	共に学び、共に高まろうとする児童の育成をめざして～言語活動を通して、思考力・表現力を育てる算数学習～
10	三朝町立西小学校	蔵増　幹夫	100,000	自分の考えを伝え合い、ともによりよく生きようとする児童の育成～つながり合い、ともに高め合う教育活動～
11	米子市立就将小学校	田中　由美	100,000	ともにつながり　高め合う　子どもの育成～豊かに感じ・深く考え・生き生きと伝え合う子ども～
12	境港市立渡小学校	嘉賀　收司	100,000	学校経営目標「自主・自律・共生の校風」、学校教育目標「進んでチャレンジする渡っ子」の具現化
13	日吉津村立日吉津小学校	金田　和寿	100,000	共に学び合う子どもの育成～対話型授業の創造を通して～
14	大山町立中山小学校	佐伯　佳彦	100,000	主体的に学び、豊かに表現する子の育成～言語活動の充実を図る学習を通して（国語科を中心に）～
15	日南町立日南小学校	中島　昭生	100,000	21世紀型スキルを身につけた児童の育成～地域素材を活用したふるさと学習の推進を通して～
16	日野町立黒坂小学校	古都　好治	100,000	言語活動の充実を図り、学ぶ意欲と活用する力を高める授業を目指して～算数科授業の指導の工夫を通して～

中学校助成校数　〔８校〕

No.	申請団体	代表者名	奨励金額(円)	備　　考（研究テーマ）
1	鳥取市立高草中学校	三谷　祐児	100,000	道徳的心情を育み道徳的実践力を高める。「朝道徳」や「全校道徳」等を通じて道徳教育の充実を図る。
2	鳥取市立湖東中学校	平井　光一	100,000	「夢の実現へ向け　見通しを持って　今を充実して生きる」生徒の育成～主発問を通した、考えさせる授業づくり～
3	鳥取市立中ノ郷中学校	田村　　穣	100,000	学校評価を活用した学校づくり～学校評価の活用による組織の強化と保護者・地域・学校間連携の構築～
4	倉吉市立河北中学校	八田　　学	100,000	自ら考え行動できる生徒
5	三朝町立三朝中学校	松浦　靖明	100,000	道徳教育の重点目標「豊かな心で主体的に行動する生徒の育成」
6	米子市立湊山中学校	大東　治巧	100,000	「いきいきと活動する生徒の育成」～豊かな人間性を育む教育活動を通して～
7	南部町立南部中学校	伊藤　静也	100,000	「自立」と「共生」のできる生徒の育成をめざして～小中連携による協同学習（学び合い）の取り組み～
8	日野町立日野中学校	後藤　宣明	100,000	確かな学力の向上と主体的に取り組む学習活動の工夫

県立学校助成校数 〔４校〕

No.	申請団体	代表者名	奨励金額(円)	備　　考（研究テーマ）
1	鳥取東高等学校	岩田　菜穂	100,000	第７回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会（愛媛県）への出場
2	鳥取湖陵高等学校	戸國　義樹	100,000	手話パフォーマンス大会出場～各科生徒が協力し、自動演奏楽器を製作、演奏、ダンス衣装製作、手話ダンスパフォーマンスを行う～
3	米子西高等学校	永江　靖幸	100,000	芸術科教員のコラボレーション発表を通しての鑑賞力育成
4	境高等学校	永野　智之	100,000	異世代間交流によるこれからの社会を生き抜くために必要な諸能力の育成

(2) 教育団体研究助成　＜２８７．２万円＞

県小学校長会	１０万円	県中学校長会	１０万円
県高等学校長協会	１０万円	県特別支援学校長会	１０万円
県私立中学高等学校長会	１０万円		
県公立学校教頭会	１０万円	県高等学校副校長・教頭会	１０万円
県私立中学高等学校教頭会	５万円		
県立学校事務職員協会	２０万円	県立学校事務長会	１０万円
県私立中学高等学校事務長会	１０万円	県教職員組合事務職員部会	１０万円
県公立小・中・特別支援学校事務職員研究会	１５万円		
県養護教諭部会	１０万円	県学校栄養士協議会	１０万円
県教組・高教組	１５万円		
小・中・県立学校の地区別校長会	１１２．２万円		

(3) 教育研究大会助成　＜１１８万円＞

- 日教組中国地区協議会カリキュラム編成講座　５万円
- 平成２６年度全国専門学科「情報科」研究協議会鳥取大会　１０万円
- 第９６回全国算数・数学教育研究（鳥取）大会
  兼第４７回中国四国算数・数学教育研究（米子）大会　１５万円
- 第４２回全国理数科教育研究大会（鳥取大会）　１０万円
- 平成２６年度中国地区高等学校通信制教育研究協議会
  及び中国地区高等学校通信制放送教育協議会　５万円
- 第５２回中・四国小学校体育研究大会　鳥取大会　１５万円
- 平成２６年度中国地方放送教育夏期特別研究交流大会　８万円
- 第３４回中国地区公立学校教頭会研究大会（鳥取大会）
  第３２回鳥取県公立学校教頭会研究大会（米子大会）　１５万円
- 第４４回全国聾学校教頭会総会・研究協議会鳥取大会　１０万円
- ダンスムーブメントセミナーｉｎ鳥取　１０万円
- 第８回中国地区小学校特別活動研究大会　鳥取大会　１０万円
- 平成２６年度中国五県町村教育長研究大会　５万円

３　教育出版

(1) 教育実践研究論文集第８号の発刊　＜６３０，７２０円＞

鳥取支部募集実践研究論文の上位入賞の論文及び日教弘教育賞への推薦論文、東京海上日動教育振興基金への推薦論文を論文集としてまとめ、広く鳥取県内の全教職員及び教育関係者に紹介した。

三　教育文化事業

1　教育文化助成

(1)　教育講演会等への助成　　＜６２．１万円＞

鳥取県ＰＴＡ協議会　　３０万円

- 基調講演「ネット社会の子育てと【心】【体】【将来】の安全を考える」
  講　師　　尾花　紀子（ネット教育アナリスト）
- パネルディスカッション
  「会話から対話へ～子どもと話そうネットのこれから～」
  コーディネーター　　曽我　邦彦（日本ＰＴＡ全国協議会元会長）
  パネリスト　　尾花　紀子（ネット教育アナリスト）
  泉　　潤一（文部科学省　スポーツ・青少年局　青少年課長）
  工藤　陽介（デジタルアーツ㈱経営企画部コンシューマ課課長）
  井上　洋子（鳥取県ＰＴＡ協議会会長）

鳥取県高等学校ＰＴＡ連合会　　２０万円

演　題　「将来の環境変化を見据えた教育改革の動向」
講　師　小林　　浩（株式会社リクルートマーケティングパートナーズリクルート進学総研所長）

鳥取県特別支援学校ＰＴＡ連合会　　２．１万円

研究テーマ　「聴覚障がいの正しい理解と手話について」
内　容　　• ミニ手話講座の実施
（聴覚障がいの正しい理解）
（鳥取県言語手話条例の理解啓発用の手話ハンドブックの等の活用）

青少年育成県民会議　　１０万円

第４８回青少年育成鳥取県民大会
■第３６回「少年の主張」鳥取県大会最優秀賞受賞者による発表
■元気な青少年のステージ
• 中山公民館箏教室
■青少年育成団体助成金交付団体の活動発表
• 世代間交流事業「川で遊ぼう」
（大和子ども会活動実行委員会　代表　　黒田　昌幸　氏）

(2)　芸術・文化活動助成　　＜２０万円＞

鳥取県中学校文化連盟　　１０万円

鳥取県高等学校文化連盟　　１０万円

(3)　スポーツの奨励　　＜４０万円＞

県小学校体育連盟　　１０万円

県中学校体育連盟　　１０万円

県高等学校体育連盟　　１０万円

県スポーツ少年団　　１０万円

福祉事業　教弘保険（一部損害保険も）の加入者のために

四　福祉事業

1　指定施設宿泊補助　　３１０泊　　２３６名　　８２７，０００円
　＜補助金額　会員・家族ともに　１泊　３，０００円　　２泊　２，０００円＞

宿泊先チェーン名	宿泊数	宿泊人数
東急ホテルズ	92泊	69名
第一ホテル	52泊	39名
リーガロイヤルホテル	31泊	22名
その他	135泊	106名
計	310泊	236名

2　結婚祝金給付　　７４名　　７４０，０００円（１人　１０，０００円）
3　子ども誕生祝金給付　　９４名　　９４０，０００円（１人　１０，０００円）
4　傷病または疾病による欠勤見舞金給付　　１０名　　１１９，５００円
5　災害見舞金給付　　１件　　７，０００円
6　会員死亡弔慰金給付　　２２名　　２２０，０００円
7　健康検診費用補助　　１，１５６名　　３，２１０，０００円

種類	補助金額	人数	金額
１泊２日ドック	4,000円	262名	959,000円
１日人間ドック	3,000円	623名	1,742,000円
脳ドック	2,000円	271名	509,000円

8　退職記念品贈呈（旅行キャリーバック）　　１５８名

共済（提携保険事業）　教職員の生活を支えるために

五　共済（提携保険事業）・福祉事業

1　共済事業（提携保険事業：生命保険）

(1)　教弘保険

①　加入状況（人数）４，９８７人　　新規　２２１人　その他の増　２３人　消滅　２３２人
〔２６年度消滅内容：解約100、退職41、満期46、死亡45　　計 232人〕
〔２５年度消滅内容：解約 92、退職31、満期47、死亡30　　計 200人〕

年度	H25年度		H26年度		H26年度加入率		増減	
区分	全年齢	60歳以下	全年齢	60歳以下	全年齢	60歳以下	全年齢	60歳以下
加入者	4,975	3,865	4,987	3,874	81.8%	63.6%	＋12	＋9
教職員数	6,120人（+36人）		6,091人（−29人）		全国6位	全国6位		

新加入会員目標達成状況

目標人数	達成人数	達 成 率
＋２３０	＋２２１	９６．１％

純増加入会員目標達成状況

目標人数	達成人数
＋３０	＋１２

② 加入状況（口数） 新規 ６，０８７口 消滅 ４，７４２口

種 別	新教弘・基本	ユース	K型(S型を含む)	１ 種	４ 種	ヤング	計
加入口数	3,333	2,628	126	販売中止	販売中止	販売中止	6,087
保有口数	46,295	23,291	4,166	4,237	2,728	0	80,717
H25年度	45,328	21,952	4,650	4,505	2,937	0	79,372

目標に対する挙績

必 達 目 標	挙績口数	達 成 率	全国順位
H26年度 ＋5,700	6，087	106．7％	１５位
H25年度 ＋5,900	6，738	114．2％	１１位

純増目標達成状況

純 増		
目標口数	実績口数	達 成 率
＋1，300	1，345	103．5％

(2) 弔慰金（保険金）支払状況 ２２名 ９７，６５２，０００円

(3) 入院給付金支払状況 ４０名 ６，０５９，５３８円

２ 福祉事業（損害保険）「まなびや・フルガード・教職員収入ロングウエイサポート」

(1) 教弘損害保険加入状況

種 別	まなびや	フルガード	教職員収入ロングウエイサポート	計
加入件数	５２	１０１	６	１５９
(25年度)	(５１)	(９１)	(６)	(１４８)
保 険 料	821,800	1,292,410	375,925	2,490,135

(2) 保険金支払状況

種 別	まなびや	フルガード	教職員収入ロングウエイサポート	計
支払件数	2	7	0	9
保険金額	21,428	558,600	0	580,028

※「まなびや・教職員収入ロングウエイサポート」は現職用、「フルガード」は現職者とその家族及び退職者とその家族が加入できます。

(3) 保険金支払状況明細

＜まなびや＞

- ベッドにつまずき、木の枠に顔面を強打した。(傷害)
- カメラケースを落としてしまい、カメラを破損した。(携行品)

＜フルガード＞

- 船に乗り込んだ際、座る前に船が動き出し転倒、足を骨折した。(傷害)
- グランドゴルフ中、段差につまずき転倒、顔を強打した。(傷害)
- 山で段差を飛び越えた際、下腹部に強い痛みを感じた。(傷害)
- 坂道を下っていて転倒、足関節捻挫。(傷害)

• 玄関の土間でつまずき転倒、足の指を捻挫。（傷害）
• 剣道の練習中に面と面がぶつかり、頸椎を損傷（傷害）
• 椅子から立ち上がる時に滑って転倒、大腿骨骨折。（傷害）

(4) 自動車保険加入状況

平成26年度加入件数	830
（平成25年度加入件数）	（811）

１９件の増

• 自動車保険目標に対する挙績

	東 部	中 部	西 部	計
目標件数	25	10	15	50
実績件数	35	7	8	50
達 成 率	140%	70%	53.3%	100%

• 年間の消滅件数　　３１件

平成27年度の事業の計画

努 力 目 標

公益財団法人日本教育公務員弘済会鳥取支部は、「将来社会に貢献しうる有為の人材を育成するため、優秀な学徒に対し奨学金の貸与、教育一般、特に有益な研究に対する助成及び教育関係者の福祉向上をはかり、もって鳥取県における人材の養成並びに社会教育文化の向上発展に寄与することを目的とする」としている。この目的達成のため本県教育の振興に資するために次の事業の拡充に努力する。

教育振興事業　（公益目的事業）

一　奨学事業

1　日教弘奨学金（大学生等対象の貸与奨学金）

★学費の支弁が困難かつ修学意欲のある優秀な生徒及び学生に対し奨学金の貸与を行う。

対　　象	貸与限度額	返　還　方　法
大学・大学院・短大・高専・各種専修学校	１００万円	１００万円の借用者は、卒業見込みの年から、原則として７年以内の年賦償還（それ以外は、５年以内）（無利息）

★募集人員　　２８人程度（本部事業）
★募集期間　　・第一次募集　　平成２７年２月１日～３月３１日
現大学生等及び当年度の大学等入学予定者
申請書で応募
・第二次募集　　平成２７年４月１日～６月３０日
現大学生等　申請書で応募

２　給付奨学金

⑴　高校生対象の給付奨学金

★学費支弁困難な優秀な生徒に対する奨学金の給付を行う。

種　類	人　数	金　額	備　　考
給付奨学生	39人	20万円	高等学校校長会に推薦を依頼する。

★給付対象校は、教弘会員が存在する国・県立学校３３校及び私立高校６校の計３９校とする。
★給付奨学生は、１校１人を原則とするが、学校の事情で必要があれば１校２人も考慮する。
（ただし、１校分２０万円以内）
★募集期間　　平成２７年４月１日～６月３０日（申請書で応募）

二　教育研究助成事業

１　教育実践研究論文募集

⑴　公益財団法人日本教育公務員弘済会（日教弘教育賞）への推薦

①　募集対象　　国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専の各学校及び教育機関等に勤務する教育関係者で組織する教育研究団体、並びに個人・研究グループ等の教育関係者。
②　主　　題　　「学校現場の実態をふまえ、明日の教育を考える」という立場から論文をまとめる。
③　論 文 量　　２４字×４３行の２段組、Ａ４版４枚。（資料、写真等を含む）
④　募集区分　　ア　学校部門（団体を含む）
最優秀賞（５０万円）　　優秀賞（４０万円）
優 良 賞（３０万円）　　奨励賞（１０万円）
イ　個人部門（研究グループを含む）
最優秀賞（３０万円）　　優秀賞（２０万円）
優 良 賞（１５万円）　　奨励賞（１０万円）
⑤　募集期間　　平成２７年７月１日～９月４日

⑵　公益財団法人東京海上日動教育振興基金募集論文への推薦

①　募集対象　　国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校並びそこに勤務する教員。
（私立学校は教育振興基金規定により応募できない。）
②　主　　題　　教育実践に基づいたもの。
③　論 文 量　　５，０００字～最大10，000字程度。
Ａ４判。４０字×４０行。（資料、写真等を含む）
④　募集区分　　ア　学校研究（１０万円）
イ　団体研究（１０万円）
ウ　個人研究（５万円）
⑤　募集期間　　平成２７年７月１日～９月４日

⑶　鳥取支部募集教育実践研究論文

教育に関する特に有益な研究をなし、教育の向上発展に寄与すると認められる学校（団体）及び個人（グループ）に助成を行う。

①　募集対象　　国公私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教職員、教育研究団体等の教育関係者。

②　主　　題　　日々の教育活動の中での実践研究をまとめる。
（児童・生徒の実態から離れた専門的な研究は対象外とする。）

③　論 文 量　　２４字×４３行の２段組、Ａ４版４枚。（資料、写真等を含む）
（日教弘募集論文に準じる。）

④　募集区分及び助成金（助成件数増）

ア　学校（団体）研究

・最優秀賞　　１０万円（１件）　・優 秀 賞　　５万円（６件）
・奨 励 賞　　３万円（５件）

イ　個人（グループ）研究

・最優秀賞　　１０万円（１件）　・優 秀 賞　　５万円（６件）
・奨 励 賞　　２万円（５件）

⑤　募集期間　　平成２７年７月１日～平成２８年１月２９日

＊鳥取支部募集教育実践研究論文への応募論文は全て審査する。その中で優秀な論文数点は、次年度募集の公益財団法人日本教育公務員弘済会（日教弘教育賞）及び公益財団法人東京海上日動教育振興基金募集論文への応募論文といっしょに審査する。

＊最優秀賞・優秀賞・奨励賞の該当数は、審査結果により変更されることがある。

【注】　１　⑴、⑵については、選考委員会で選考し幹事会で推薦を決定する。
⑶については、選考委員会で選考し幹事会で決定する。

２　日教弘及び東京海上日動教育振興基金応募の論文で、それぞれの推薦にならなかったものは、鳥取支部の応募論文として扱う。

３　鳥取支部、日教弘、東京海上日動教育振興基金の論文の応募については、 同じ募集先について２年連続で応募はできないが、前年度とテーマと内容が異なっており募集先が同一でなければ、続けて応募することができる。

２　教育研究助成

⑴　日教弘奨励金（学校教育研究助成）

★趣　　旨　　学校教育、社会教育、学術、芸術、伝統文化（技能、芸能）、医療、福祉、建築、デザイン、工芸、ファッション、環境保護等の各分野において、社会、文化の向上発展に寄与する有益な研究・活動等に対する助成を行う。

★総額２８０万円（小：１６０万円　中：８０万円　高：４０万円）

※小学校数　　東：５５校　中：２７校　西：４７校　　計１２９校
※中学校数　　東：２１校　中：１２校　西：２４校　　計　５７校
※県立学校数　東：１４校　中：　７校　西：１１校　　計　３２校

★応募期間　　平成２７年４月１日～６月３０日　申請書で応募

★小・中・高の校長会に推薦を依頼し、選考委員会で選考し幹事会で決定する。

★助成を受けた学校は、研究・活動終了時に成果報告書を提出する。

⑵　教育団体研究助成

★学校教育に携わる全県規模の団体の教育の充実向上を目的にした有益な教育実践研究（活動）に対する助成を行う。

⑶　教育研究大会助成

★教育の発展と充実に貢献するため、本県を会場に行う教育研究大会（西日本大会・全国大会・中四国大会・中国大会）に対する助成を行う。

★助成基準

参加人数	助成金
３００人以上	１５万円
２９９人～２００人	１２万円（＋２万円）
１９９人～１００人	１０万円（＋２万円）
９９人以下	８万円（＋３万円）

★応募期間　　随時　申請書で応募

３　教育出版

(1)　教育実践研究論文集の発行

鳥取支部募集教育実践研究論文の上位入賞の論文及び日教弘教育賞への推薦論文、東京海上日動教育振興基金への推薦論文を論文集としてまとめ、広く鳥取県内の全教職員及び教育関係者に紹介し、鳥取県の教育の向上発展に寄与する。

①　教育実践研究論文集は、編集作業の都合により翌年度の５月に発行する。

②　広く鳥取県内の全教職員及び教育関係者に配布する。

三　教育文化事業

１　教育文化助成

(1)　教育講演会等への助成

★学校教育に関わる全県規模の団体への有益な教育講演会等に対する助成を通して、教育文化の発展と充実に寄与する。

★応募期間　　平成２７年４月１日～６月３０日　　申請書で応募

(2)　芸術・文化活動助成

★教育に携わる全県規模の団体への生徒を対象とした多様な芸術・文化活動に対する助成を通して、教育文化の発展と充実に寄与する。

★応募期間　　平成２７年４月１日～６月３０日　　申請書で応募

(3)　スポーツの奨励

★スポーツに携わる全県規模の団体における活動に対する助成を通して、スポーツの振興に寄与する。

★応募期間　　平成２７年４月１日～６月３０日　　申請書で応募

福祉事業

四　福祉事業

１　指定施設宿泊補助　［補助対象：現職の教弘保険及び損害保険の加入者、友の会会員］

利用施設	泊数	会員	家族
指定宿泊施設（事業一覧表参照）	１泊目	3,000円	3,000円
	２泊目	2,000円	2,000円

(1)　弘済会の指定する宿泊施設を利用する場合は、上記の表のとおり補助する。

(2) その家族が宿泊施設を利用する場合も補助する。
(3) 宿泊施設を利用する場合は、宿泊施設に直接予約し、その後に弘済会事務局に宿泊者氏名、宿泊年月日、宿泊施設名等を明らかにして利用券を申請する。
(4) 利用券を宿泊施設のフロントに提出する。

2 結婚祝金給付 [給付対象：教弘保険の加入者]

＊給　　付　　結婚したときは、申請により結婚祝金を給付する
＊申請期間　　結婚後１年以内に申請するものとする。
＊金　　額　　１０,０００円とする。

3 子ども誕生祝金給付 [給付対象：教弘保険の加入者]

＊給　　付　　子が生まれたときは、申請により祝金を給付する。
＊申請期間　　出産後１年以内に申請するものとする。
＊金　　額　　１０,０００円とする。
＊受給資格　　男女を問わない。

4 傷病または疾病による欠勤者見舞金給付 [給付対象：現職の教弘保険の加入者]

＊対 象 者　　見舞金対象者とは、事由の如何に関わらず傷害または疾病により入院または自宅療養のため連続３０日以上欠勤した者とする。
＊見 舞 金　　見舞金は、教弘保険月額保険料、同加入継続年数、欠勤日数によるものとする。
＊手 続 き　　給付を受けようとする者は、再び出勤することとなった日以降年度内に所属長の証明を付し、所定の申請書を提出する。
＊給付回数　　給付は、年度に１回に限定するものとする。

5 災害見舞金給付 [給付対象：現職の教弘保険の加入者]

＊給　　付　　不可抗力によって災害を受けたときは、見舞金を給付する。

6 会員死亡弔慰金給付 [給付対象：現職の教弘保険の加入者及び友の会会員の遺族]

＊給付事由　　会員本人が死亡した場合。
＊死亡弔慰　　弔慰金又は花輪一基。

7 健康検診費用補助 [補助対象：現職の教弘保険及び損害保険の加入者]

(1) １泊２日人間ドック　　４,０００円
(2) １日人間ドック　　３,０００円
(3) 脳ドック　　２,０００円

※ 退職記念品贈呈 [贈呈対象：現職の教弘保険の加入者]

＊退職したときは、記念品を贈る。

五 共済事業（提携保険事業）

1 共済事業（提携保険事業：生命保険）

＊教弘保険
＊その他

2　福祉事業（損害保険）

＊自動車保険
＊教弘まなびやスーパープラン（教職員賠償責任保険付き）
＊［フルガード］
＊教職員収入ロングウエイサポート

※　「まなびやスーパープラン・教職員収入ロングウエイサポート」は現職用、「フルガード」は現職者の家族及び退職者とその家族が加入できます。

お知らせ

トピック１

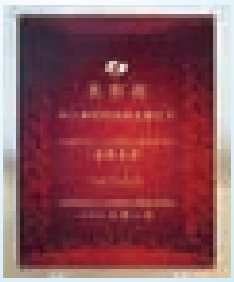
加入率表彰受賞

日教弘の第７回支部長協議会で加入率６０％以上達成支部（全国７支部）として鳥取支部が表彰を受けました。

鳥取県内の教職員の皆様をはじめご支援をいただいています多くの皆様のご理解とご協力の賜です。

誠にありがとうございます。

皆様とともにお祝いしたいと思います。



トピック２

ありがとう先生！〔第２集〕心に残った言葉

TOKYO FM 人気番組「ジブラルタ生命　Heart to Heart」ありがとう、先生！の第２集が各学校に配布されています。

この書籍の感想をお寄せいただいています。

印象に残った先生の言葉は…！！

【先生方のアンケートより】

- 恋はときめくもの、愛は貫くもの
- 厳しさのないやさしさはない
- 変わりたいと思ったときが変われるチャンス
- 大きい車輪はゆっくりまわる
- みんなはじめての人生をやっている
- 大丈夫！いま辛くてもこの悲しみはずっとじゃない
- 悩みも哀しみも人生の肥やしになる
- 「あの頃より今が一番楽しい」と言えるような大人になりたい
- 人生に夢があるのではない。夢が人生をつくるのだ。
- あきらめなければ、夢は向こうから会いにくる
- いい加減は、良い加減
- 最善を望み、最悪に備える
- 無理の先に光がある

平成27年度 事務局役職員

前列左から

聲高　宣夫　職員（自動車・損保担当、参事兼務）
尾﨑　祥彦　支部長
山根　俊道　専任幹事兼事務局長

後列左から

前田　由美　職員（損保担当）
福田ひとみ　職員（会計・生保担当）
大江　雅美　職員（会計・損保担当）

教職員のための

新教弘保険

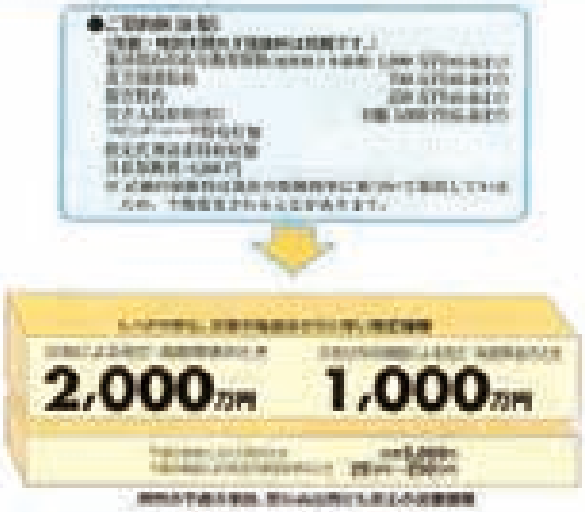
ジブラルタ生命の
保険種類のご案内
も併せてご覧ください。

死亡・高度障害保障とあわせて、ご希望により災害関係の保障もご提供できる教職員の皆さまのために設計された保険です。

特徴

- この保険は、集団契約特約が付加されていますので低廉な保険料で死亡・高度障害時の保障が得られます。
- 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員の方のうち、学校・その他の教育機関に勤務する教職員およびこれに準ずる方で、35歳以上60歳以下の方がお申込みいただけます。
- B型は、災害割増特約・傷害特約・災害入院特約(87)により、不慮の事故など災害に対する保障の充実が可能です。

仕組図および給付内容



教職員のための

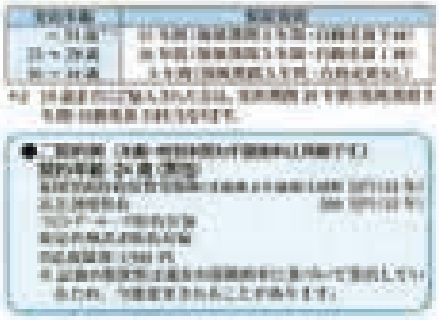
ユース教弘保険『あゆみとはじめ』

死亡・高度障害時の保障と災害による死亡・高度障害時の保障をご提供する、教職員の皆さまのための保険です。

特徴

- 公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員の方のうち、学校・その他の教育機関に勤務する教職員およびこれに準ずる方で、34歳以下の方がお申込みいただけます。
- ご加入時の年齢により、この保険の保障期間は下表の通りとなります。
- 保障期間満了時にお申し出により新教弘保険(A型)への移行*1のお取扱いができます。
  *1 医師の診査等を受けることなく加入することができます。

仕組図および給付内容



※記載の内容は、平成27年7月1日現在の概要を示しております。詳しくは共済事業（提携保険事業）提携会社 ジブラルタ生命の「保険設計書（契約概要）」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

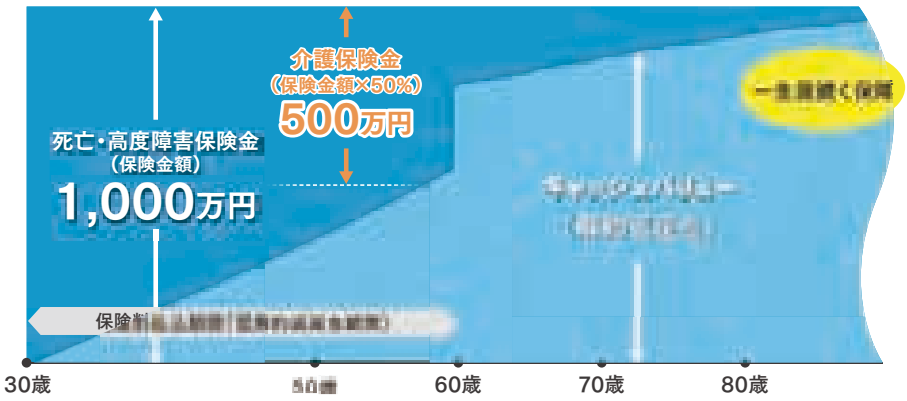
新教弘介護保障付終身保険〔無配当〕

介護保障付終身保険（低解約返戻金型）

その時々の教職員の皆さまの必要に応じた受取り方をご用意しました。

ご契約例

- 契約年齢（被保険者）：30歳（男性）
- 保険金額：1,000万円
- 保険期間：終身
- 保険料払込期間：60歳満了
- 保険料（月払・団体扱B）：20,870円



「万が一のとき」「介護が必要になったとき」に備え、一生涯続く保障をご準備いただける保険です。

1 死亡保険金をお受取りいただけます。

2 高度障害保険金をお受取りいただけます。

3 公的介護保険制度の要介護2以上の状態に該当していると認定されたとき等に介護保険金をお受取りいただけます。その後も死亡・高度障害保障が一生涯続きます。
（死亡・高度障害保険金の額は、介護保険金受取り後に、介護保険金と同額が減額されます。）

4 低解約返戻金型なので、保険料が割安です。
この保険は低解約返戻金型です。
保険料払込期間中の解約返戻金を、低解約返戻金型としなかった場合の70%とすることにより、低廉な保険料水準を実現しております。

年金で受取る

保険金等の支払方法の選択に関する特約を付加されますと、保険金またはキャッシュバリューを年金としてお受取りいただけます。
※キャッシュバリューを年金でお受取りになる場合は、契約日から5年経過後よりお取扱いします。
〈ライフプランに合わせて年金の種類をお選びいただけます。〉

特約保険料は不要です。

生きるための資金として受取る

リビング・ニーズ特約を付加されますと、被保険者の余命が6か月以内と判断される場合、リビング・ニーズ特約による保険金をお受取りいただけます。

特約保険料は不要です。

要介護状態に備える保障もご用意しました。

介護保険金を受取る

〈要介護2以上等〉

・公的介護保険制度の要介護2以上の状態に該当していると認定されたとき等に介護保険金をお受取りいただけます。

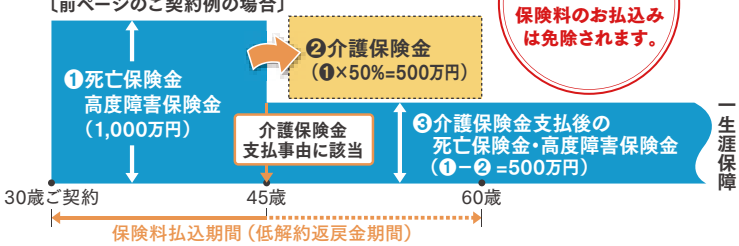
・介護保険金が支払われた場合も、死亡・高度障害状態に対する保障が一生涯継続します。（右図❸部分）

・介護保険金が支払われた場合、以後の保険料のお払込みは免除となります。

例えば 所定の要介護状態に該当され、介護保険金（図中❷）が支払われる場合・・・

介護保険金お支払後、保険料のお払込みは免除されます。

〔前ページのご契約例の場合〕



ジブラルタ生命保険株式会社 本社／〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10 教職員のお客様 0120-37-9419（ミナ キョウイク）（通話料無料）
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※記載の内容は、平成27年7月1日現在の概要を示しております。詳しくは共済事業（提携保険事業）提携会社 ジブラルタ生命の「保険設計書（契約概要）」「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

平成27年度加入のご案内

教職員収入ロングウェイサポート

団体長期障害所得補償保険

平成27年8月1日始期（保険期間1年）
（平成27年8月1日午後4時～平成28年8月1日午後4時）

自動更新

募集期間　平成27年6月1日(月)～7月22日(水)

「病気・ケガで働けなくなったら…」そんな時の収入の減少を長期にカバー

団体割引 25%割引

Q この保険はどのような保険ですか？

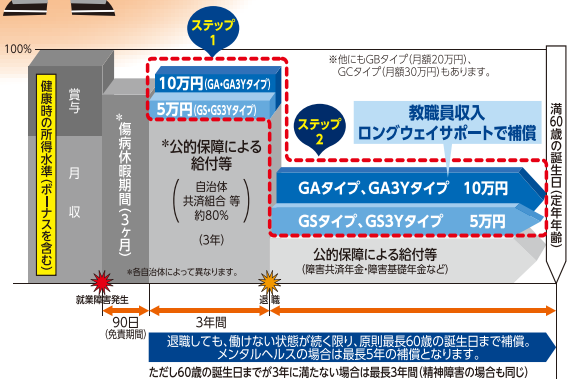
A この保険は、教職員の皆様が万が一、病気やケガで働けなくなり収入が途絶えた場合に備えるもので、所得の減少を長期にわたりカバーします。個人では加入できない団体専用の長期所得補償保険です。

Q この保険は何歳まで加入できますか？

A この保険は、補償期間が原則60歳まで(*)となっているため、保険始期日現在で59歳までの方が加入できます。
(*)原則最長60歳の誕生日まで補償します。(精神障害の場合は最長5年間となります。)ただし、補償期間開始から60歳の誕生日までが3年に満たない場合は3年間となります。

Q 契約は自動更新と聞いたが、告知は毎年しなければならないのですか？

A 自動更新で契約を続けている限り、毎年の告知は必要ありません。ただし、増額タイプに変更するなど保険責任の支払条件を加重する場合には再告知が必要となり、告知の結果に基づいて、引受の可否、特定疾病不担保の決定が行われます。



加入資格

1. 公立学校の教職員　2. 国立学校及び私立学校の教職員

※上記に該当する満59歳以下の方で、公益財団法人日本教育公務員弘済会の趣旨に賛同いただいた方(会員)となります。

このご案内は、「団体長期障害所得補償保険」の概要について説明したものです。
保険の内容は、パンフレットをご覧ください。
詳細は保険約款および協定書によりますが、ご不明な点がありましたら、代理店または東京海上日動火災保険㈱におたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
日本教育公務員弘済会　検索
www.nikkyoko.or.jp

平成27年3月作成　承認番号15-T-00090

各種保険のお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は
代理店 株式会社 鳥取教弘 0857(26)5334 〒680-0833 鳥取市末広温泉町600番地
代理店 鳥日教弘 / 損害保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 山陰支店鳥取支社 TEL 0857-23-2201

教職員のみなさま専用の保険

教弘まなびやスーパープラン

平成27年度加入のご案内

自動更新

平成27年8月1日始期
(保険期間1年)
(平成27年8月1日午後4時
～平成28年8月1日午後4時)

募集期間 **平成27年6月1日(月)～7月22日(水)**

中途加入について 補償期間：加入依頼日の属する月の翌月1日午前0時～平成28年8月1日午後4時まで

教職員賠償責任保険 ＋ 教職員総合保険 ← 団体割引・損害率による割引あわせて 約32%割引

※保険料は補償項目ごとに端数処理を行っております
※天災危険担保部分の保険料は、団体割引25%のみ適用となります
※上記割引率は、教職員総合保険に適用となります

先生方の「安心」を、しっかり支える保険です。
業務中、日常の様々なトラブルから教職員のみなさまをお守りします。

教弘まなびやスーパープランにおける事故事例

□パワハラだと訴えられる。※2
争訟費用
損害賠償金
※2 実際にパワハラを行っている場合は保険金支払の対象となりません。パワハラをしてもいないのに訴えられた場合が対象で、5,000万円が支払限度となります。
□授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。
損害賠償金
お見舞金
争訟費用
損害賠償金
□生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。
□部活動指導中にケガをする。
治療費
こんなことがあったらどうしよう…
□自転車で他人にケガをさせる。※1
損害賠償金
※1 教職員総合保険で日常生活の賠償事故として支払対象となり、5,000万円が支払限度となります。

主な補償は…

教弘まなびやスーパープランの特徴

教職員業務中(*)の賠償責任について補償
(*)教職員総合保険では教育業務中をいいます。

1. **遡及補償** 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
   ただし、保険期間の初日より前に提起されていた請求および保険期間の初日において請求がなされるおそれがある状況を被保険者が知っていた場合はお支払い対象外〈教職員賠償責任保険〉
2. **延長補償** 教職員をやめた後になされた請求についても**5年間補償**〈教職員賠償責任保険〉
   ※ただし、保険期間末日までに脱退された場合を除きます。
3. **初期対応費用も補償**
   身体障害を被った被害者への見舞金等
4. **争訟費用(弁護士費用等)及び損害賠償金を補償**
   対人・対物1億円、その他の事故で5,000万円補償
   ※「教職員賠償責任保険」からの教職員業務における賠償責任・争訟費用の保険金のお支払は、対人・対物事故に起因するものとそれ以外の事案に起因するものを合算して1請求・保険期間中5,000万円が支払限度額となります。

保険料・保険金額の例

まなびやスーパープランMAタイプの場合

月払 1,000円 (初月のみ6,000円)	死亡・後遺障害：191.7万円
年払 15,890円	入院日額*：3,000円
	通院日額：1,600円

※上記保険料は8/1始期の保険料となっております。

*手術保険金のお支払額は、入院保険金日額の10倍(入院中の手術)または5倍(入院中以外の手術)となります。傷の処置等お支払いの対象外の手術があります。

この他、上記(イラスト)の損害賠償金、争訟費用に加えて、初期対応費用、携行品損害、生徒見舞い費用など多彩な補償があります。補償の詳細は必ずパンフレットにてご確認ください。

加入資格 公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方

1. 公立学校の教職員
2. 国立学校および私立学校の教職員
   ・校長先生 ・教頭先生 ・教諭・講師(*1) ・事務職員・用務員

(*1)養護教諭を含みます。

[ご注意]大学の医学部、歯学部、薬学部、看護学校等の医師、歯科医師、看護師、薬剤師の育成を目的とする学校に所属する教職員の方および、教育委員会・教育事務所の職員の方については、加入できません。

このご案内は、「教職員賠償責任保険」「教職員総合保険」の概要について説明したものです。
保険の内容は、パンフレットをご覧ください。
詳細は団体が保有する保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら、
代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険㈱におたずねください。
ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
日本教育公務員弘済会 検索
www.nikkyoko.or.jp

平成27年3月作成 承認番号15－T－00251

各種保険のお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は
代理店 株式会社 鳥取教弘 0857(26)5334 〒680－0833 鳥取市末広温泉町608番地
代理店 ㈱日教弘／総務・引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 山陽支店鳥取支社 TEL 0857-23-2201

役　　員　（27年度用）

幹事・監査 19名

幹　事 16名

支　部　長	尾﨑　祥彦	退　職（全県）
副 支 部 長	西上　孝明	退　職（東部・中）
〃	岸田　泰彦	退　職（中部・小）
〃	山根　　浩	退　職（西部・中）
専 任 幹 事	山根　俊道	退　職（東部・小）
幹　　事	吉田　博幸	小学校長会代表（浜村小）
〃	田村　　穣	中学校長会代表（中ノ郷中）
〃	小宮山信行	高等学校長会代表（鳥取工高）
〃	稲田　　均	公立学校共済組合鳥取支部
〃	寺谷　昭人	鳥取県教職員組合
〃	吉岡　悟志	鳥取県高等学校教職員組合
〃	野崎　淳介	退　職（東部・高）
〃	岡本　幹夫	退　職（中部・中）
〃	松本　清治	退　職（中部・高）
〃	吉岡　理一	退　職（西部・小）
〃	小鉄　治人	退　職（西部・高）

監　査 3名

監　　査	西尾　幹雄	退　職（東部）
〃	田中　英也	退　職（中部）
〃	門脇　輝明	退　職（西部）

運営委員 37名

組織代表 10名

	小	中	高
校長会	森本　直子（修　立）	福嶋千寿子（久　米）	小倉　健一（八　頭）
教頭会	大高　勝　（福　部）	太田垣崇志（国　府）	岡本　武典（倉吉西）
教　組	金森　　誠（県教組）		西川真由美（高教組）
事務職	川本　陽子（船上小）		岩好　　茂（米子東）

地区代表 27名

	東　部	中　部	西　部
小学校	民野　尚義（若葉台）	徳田　賢治（河　北）	内田　正志（啓　成）
	倉本　一弘（稲葉山）	森田　澄恵（聖　郷）	野口　信也（根　雨）
	北村　知憲（賀　露）	山田　直樹（東　郷）	田中　豊昭（河　崎）
	谷口　　謙（岩美西）		金田　和寿（日吉津）
	山﨑　泰央（　隼　）		松田　寛彦（　境　）
	村山　洋子（船　岡）		
中学校	前田　哲雄（青　谷）	松浦　靖明（三　朝）	中島　孝仁（法勝寺）
	衣笠　　洋（国　府）	横山　義紀（鴨　川）	木村　一也（境港一）
	渡邉　二之（八　頭）		岡﨑　　茂（境港二）
高　校	岡田　信康（湖　陵）	竹ノ内誠一（倉総産）	田淵　直記（日　野）
	加賀田為信（智頭農林）		澤田　裕二（米子南）

参事・職員

参　　事	川上　尚作	退　職（東部）
〃	青木　　茂	退　職（全県）
〃	鳥山　秀穂	退　職（中部）
〃	冨田　　彰	退　職（西部）
〃	船越　寛明	退　職（西部）
事務局長（兼）	山根　俊道	退　職（東部）
事 務 局 職 員	福田ひとみ	会計・生保担当
〃	大江　雅美	会計・損保担当
〃	聲高　宣夫	自動車・損保担当、参事兼務
〃	前田　由美	損保担当